

中国の中古車市場 2021

2020年1,400万台市場に拡大した中古車市場を
車齢、セグメント、地域、ブランド別に徹底解析

- ◆ FOURINが独自に入手した2019~2021年の最新データで徹底分析!!
- ◆ 中国の31省・自治区・直轄市を網羅する中古車取引から実態を把握!!
- ◆ 平均残価率や車齢、セグメント、ブランド別データで最新取引の傾向解析!!
- ◆ 中古車市場の基本情報から中古車流通管理弁法など関連法規を解説!!

■ 体裁：A4判 123頁、カラー印刷 ■ 発行：2021年10月29日 ■ 価格：264,000円(税込、国内送料込)

中国で中古車市場の急拡大が続いています。2020年は新型コロナウイルスの感染拡大で初めて前年割れとなったものの、中古車の年間取引台数は1,434万台に達しています。過去10年間で見ても、2010年の385万台からは4倍近く、5年前の2015年と比べても約1.5倍の規模で成長。中国の新車市場が2018年から3年連続で低迷しているのに比べると、中古車市場の右肩上がりの成長は誰の目にも明らかです。

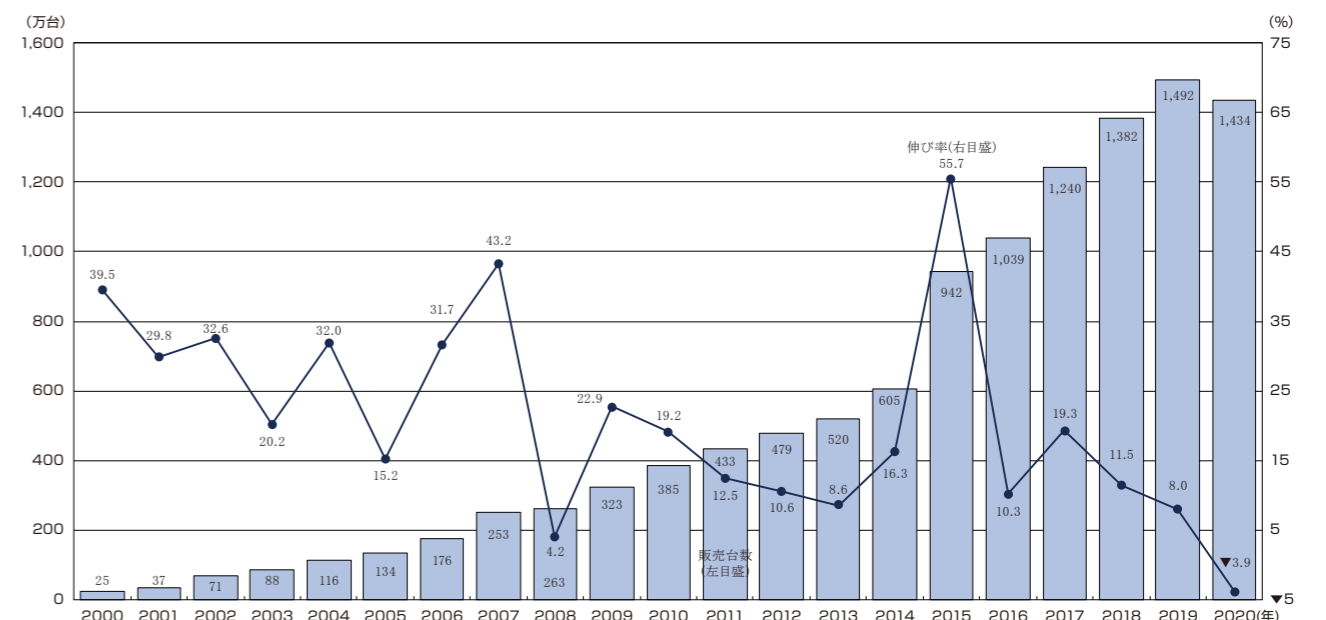
「中国の中古車市場2021」では、これまで日本国内ではあまり取り上げられなかった中国中古車市場の最新状況について分析します。第1章の総論では、中古車市場の規模がどれくらいの規模なのかといった基本情報や、中古車輸出振興策などの関連法政策を概観。中国自動車流通協会(CADA)が公表しているデータをもとに最新の中国の中古車市場の動向を解説します。また、FOURINの独自視点で中古車取引において焦点となる平均残価率から見た市場分析について第2章で取り上げています。

第3章から第6章までは、FOURINが独自に入手した1,350万件余の中古車取引データを元に、車齢別やセグメント・パワートレイン別、地域別、ブランド別で中国の中古車市場の特徴について解析しています。

これまで中国自動車について書かれた書籍はたくさんありましたが、中古車に関する専門書籍はほとんどないのが現状です。

当案内をご高覧頂き、関連部署とも相談のうえ、ご購入賜りますようお願い申し上げます。

中国国内における中古車取引台数の長期推移 (2000年~2020年)



(中国物流与採購聯合会、CADA データより作成)



総論
取引台数推移など
中国中古車市場の基本情報を掲載!!!

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記入の上、FAX または郵送下さい。また E-mail による受付も行ってあります。

世界自動車産業専門調査会社
FOURIN
(フォーイン)
〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘 292 フォーインビル
TEL : 052-789-1101 FAX : 052-789-1147
https://www.fourin.jp E-mail : info@fourin.jp

申込書

中国の中古車市場 2021

264,000円(税込、国内送料込)

(株)フォーイン 行 **Fax: 0120-0000-73**

年 月 日

御社名

御利用部署名

〒 御住所 (送付先)

TEL 番号 FAX 番号

E-mail address

(フリガナ) 御担当者氏名 御役職

通信欄

第1章 中国中古車市場概観 1

1. 成長し続ける巨大マーケット 2

過去10年間で3.7倍と急伸、2021年は1,600万台規模に 2

◇新車と中古車比率1:0.57、日本との差大きく 3

◇中古車取引後押しする自動車保有台数増 4

2. 見えてきたマーケットの特徴 5

増える車齢7年以上の取引、地域跨ぐ規制撤廃追い風に 5

◇「3万元以内」が34%で最多 6

◇地域別取引では華東地区が3分の1 7

◇省を跨ぐ取引は3割近くまで上昇 7

3. 動き始めた「中国発」中古車 8

初の中古車輸出振興策発表、市場活性化の起爆剤に 8

◇「品質と安全性の確保」がカギ 9

4. 法政策から見た最新動向 10

慎重に進められる関連法整備、改正流通管理弁法に期待 10

◇難航する中古車流通管理弁法の改定 12

第2章 中国中古車の残価率 19

中古車残価率、日系の強いHEV残価率が高位を維持し、PHEV・EVという新エネ車の残価率が上昇傾向へ 20

第3章 車齢別中国中古車市場 47

車齢別中古車取引、車齢4年～10年は取引のボリュームゾーン、2021年に欧州系、日系の加重平均車齢が低下 48

第4章 セグメント・パワートレイン別中国中古車市場 55

セグメント別中古車取引、Cセグメントが最大市場を形成、SUVのシェア上昇が目立つ 56

第5章 地域別中国中古車市場 69

地域別中古車取引、最大市場は山東省、新車市場超え153万台に、日系の強い広東省は2位にランクイン 70

第6章 ブランド別中国中古車市場 103

ブランド別中古車取引、VWが1位、トヨタは2位で、高級ブランドは2020年と2021年とも2桁成長 104

見本頁

【中国、パワートレイン別車種別平均残価率と平均走行距離(2021年10月時点平均値)】

車種	ブランド	セグメント	車種	平均残価率	平均走行距離
理想L9	理想	C-EV	理想L9	80.2%	12,000km
蔚来ET7	蔚来	E-EV	蔚来ET7	75.1%	10,000km
小鹏P7	小鹏	D-EV	小鹏P7	72.8%	11,500km
比亚迪汉EV	比亚迪	D-EV	比亚迪汉EV	70.5%	13,000km

第2章
平均残価率をモデル・ブランド別で掲載!!

【中国、パワートレイン別車種別平均残価率と平均走行距離(2021年10月時点平均値)】

セグメント別中古車取引、Cセグメントが最大市場を形成、SUVのシェア上昇が目立つ

セグメント別で中古車取引状況を見ると、Cセグメントは2020年に460万台取引され、シェアは34%を占め、最大のセグメントとなっている。新車市場のSUV比率の上昇とともに、今後SUVがCセグメントに匹敵するシェアを占めることも予想される。2020年にA、B、B-MPVのようなローエンドの車種は新型コロナの影響を受けてマイナス成長となった。SUVやEVはそれぞれ14.4%増、11.9%増の2桁成長を果たしている。パワートレイン別で見ると、ガソリンエンジン車は依然として主流の車種であるが、HEV、EV、PHEV等電動化は徐々に中古車市場に放出され始めており、2021年1～8月にHEV 5.6万台、EV 3.4万台が取引されている。また、新車市場と同じ傾向で、AT車、ターボ搭載車の構成比は新型コロナの影響を受けず、

第4章
セグメント、AT・MT別取引状況を把握!!

【中国、地域別中古車取引台数(2020年)】

第5章
中古車・新車取引が活発な地域もわかる!!

【中国、地域別中古車取引台数(2020年)】

第6章
日系ブランドの中古車関連情報が満載!!

【中国、日系別中古車取引台数と月別走行距離(2019年1～8月)】

車種	2019年	2020年	2021年	2021年1～8月
トヨタ	1,363,131	1,449,617	1,489,277	1,418,277
日産	862,500	791,096	828,131	815,254
本田	1,475,396	1,329,443	1,371,374	1,369,316
三菱	1,121,404	1,096,295	1,121,374	1,121,374

【中国、日系別中古車取引台数と月別走行距離(2019年1～8月)】

車種	2019年	2020年	2021年	2021年1～8月
トヨタ	4,574,600	4,261,266	4,594,266	4,594,266
日産	2,527,290	2,406,120	2,527,290	2,527,290
本田	3,264,000	3,014,510	3,140,000	3,140,000
三菱	2,110,000	1,814,000	1,814,000	1,814,000

【中国、パワートレイン別車種別平均残価率と平均走行距離(2021年10月時点平均値)】

ブランド別中古車取引、VWが1位、トヨタは2位で、高級ブランドは2020年と2021年とも2桁成長

系列別で中国の中古車取引状況を見ると、2020年にコロナ禍の影響を受けたものの、新車市場でマイナスイとなった中国、欧州系、日系、米国系、韓国系はともにプラス成長を果たした。2021年1～8月も中国、欧州系、日系、米国系は2桁成長を実現した。一方、系列別の月単位車齢を見ると、2020年時点では日系は97.3ヵ月で首位となり、中国系の84.5ヵ月に比べ、車齢は10ヵ月以上長かった。ただ、2021年1～8月には、日系の月単位車齢は前年同期比0.9ポイント下振りの96.1ヵ月となった。その要因は、主力企業トヨタ、ホンダの車齢の低下である。車齢は保有期間ともいえ、製品力の低下が保有期間の低下につながる可能性が与える影響が大きい。

第6章
日系ブランドの中古車関連情報が満載!!